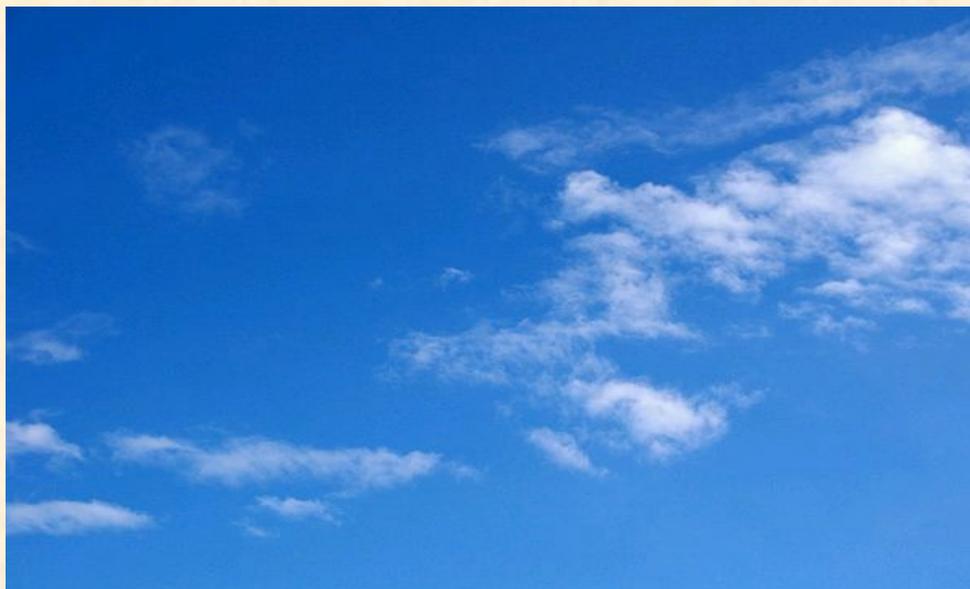


～東北に想いをよせて～

# 黒田彰と西高混声合唱団 音楽の夕べ



*We are all one family under the same sky.*

私たちはすべてひとつの家族、この同じ空の下で



2012年3月11日（日）午後7時開演  
三鷹市芸術文化センター  
風のホール

主催：西高混声合唱団



## ご挨拶

### ■ 西高混声合唱団代表 広島絵里子

本日はお忙しい中ご来場賜り、心よりお礼申し上げます。

東日本大震災より1年経つこの日、東北に想いをよせて黒田彰と西高混声合唱団による音楽の夕べを開催させていただき事にいたしました。

西高混声合唱団は毎年日比谷公会堂で開催される「東京校歌祭」に出演した都立西高同窓生を中心に2000年榊原俊一先生のご指導で「西高同窓会合唱団」として発足し、2002年より現名称に改めメンバーを西高同窓生だけでなく西高関係者に拡大いたしました。2005年より頭声発声を基本にされる黒田彰先生のご指導に替り、発声の徹底指導を受けながら演奏を重ね、2010年には結団10周年を記念して演奏曲を集大成した「愛唱歌集」を作りました。本日のコンサートでもこの中から多くの選曲をしております。

昨年は4月にコンサートを予定しておりましたが急遽中止し、その後今日まで鎮魂を祈り、未来への希望を願いながら演奏してまいりました。

深い哀悼の祈りを捧げ、再生・復活への願いを込めて出演者一同演奏させていただきます。

### ■ 西高混声合唱団指揮者 黒田 彰

本日はお忙しい中、私どものコンサートにお越し頂きありがとうございます。

私たち団員一同、震災後、西洋に伝えられている「一度歌うことは、二度祈ること」を心に、この一年間、思いを寄せ、歌ってまいりました。特に、この一年東北の皆様から、家族、地域、故郷そして何より合唱の大切さを教えて頂きました。私たちの演奏会は小さな演奏会ですが、本日開かれる国内での演奏会、そして日本の子供たちのパリ・ユネスコ本部演奏会、また、東北大学OB合唱団の東京オペラシティ演奏会と、気持ちをつなぎ合わせて、歌ってまいりたいと思っております。

それでは、本日出演の方々、お聴き頂く皆様、そしてここに来たくても来られなかった皆様とともに、さらにこの演奏会を支えて頂いた多くの方々に感謝を込め、この三鷹の風のホールから、東北にそして世界の被災地に思いを寄せたコンサートを始めさせていただきます。

## 演奏会に寄せて

### ■ 東京都立西高等学校同窓会 会長 高木 勇

西高同窓会は東日本大震災と二つ関わりがあります。

同窓会は学校の要請に応じて、西高1年生を対象に進路選択の参考として、毎年3月に視聴覚ホールで同窓生による「パネルディスカッション」を開催しております。昨年は65期生に対して行いましたが、丁度佳境に入った所での大地震が発生しました。落下物も怪我人もなく無事避難できたのは幸いでした。

4月の同窓会「定時評議員会」で35期から同期会残金を義援金として寄付したいと申し出があり、会員に呼掛けることにしました。他期や会員分も併せ、東北3県の小中高生の遺児育英資金となる「桃・柿育英会」に送付しました。

西高混声合唱団には、毎年同窓会行事に協力頂き感謝しております。本日の東北に連帯するコンサートが、亡くなった方々への鎮魂の祈りとして、また、被災者の皆様への復興の願いとして届くよう祈念いたします。

### ■ 東北大学男声OB合唱団Chor青葉 幹事長 赤星晴夫（西高21期）

本日は演奏会おめでとうございます。

西高を21期で卒業し、現在、東北大学男声OB合唱団Chor青葉の幹事長をしております。

西高時代、クラブや授業では音楽と縁の薄い高校生活でしたが、大学で男声合唱団に入り合唱にどっぷり浸かった学生時代を送りました。2005年にOB合唱団Chor青葉が生まれ、毎年3月に歌う仲間150人と初台のオペラシティで演奏会を開いてまいりました。西混代表で同期の広島様や黒田先生、平山様にもおいでいただいております。

昨年3月11日に東北地方は東日本大震災に襲われましたが、ちょうど1年目の今日、犠牲者への哀悼の祈りとふるさと東北の再生復活への願いを込めて「春を待つ」と題して演奏会を開催することができました。黒田先生と西高混声合唱団が日と同じくして東北地方と被災者に思いをよせた祈念コンサートを開催されるとのこと、皆様の歌声がお客様のこころに響き、私たちの歌声とともに未来への希望につながっていくことを願っています。

## 第1部 混声合唱

西高混声合唱団 指揮：黒田彰 ピアノ：大島優子

見上げてごらん夜の星を 永六輔作詞／いずみたく作曲／土屋公平編曲  
 ふるさとの四季（混声合唱のための唱歌メドレー） 源田俊一郎編曲

## 第2部 独唱とピアノ演奏

バリトン独唱 黒田 彰 ピアノ：小埜寺里香

初恋 石川啄木作詞／越谷達之助作曲

「ひとりぼっちがたまらなかつたら」より

幸福が遠すぎたら 寺山修司作詞／大中恩作曲

小さな空 武満徹作詞／武満徹作曲

荒城の月 土井晩翠作詞／滝廉太郎作曲

ピアノ演奏 小埜寺 里香

ノクターン Op.9 No.2 F. ショパン作曲

～～～ 休 憩 ～～～

## 第3部 混声合唱

西高混声合唱団 指揮：黒田彰 ピアノ：大島優子

瑠璃色の地球 松本隆作詞／平井夏美作曲／源田俊一郎編曲

風 小高陽子作詞／三善晃作曲

遥かな友に 磯部淑作詞／磯部淑作曲

大地讃頌 大木惇夫作詞／佐藤眞作曲

郵便馬車の馭者だった頃（ロシア民謡） 井上頼豊訳詞／榊原傑一・平林明子編曲

イエズスの面影 T. L. デ・ビクトリア作曲

Ave verum corpus W. A. モーツァルト作曲

想いよ、黄金の翼に乗って飛んで行け！（歌劇「ナブッコ」より） G. ヴェルディ作曲

全員合唱 ～会場のみなさまも一緒に～

見上げてごらん夜の星を

ふるさと





## 第1部

### 1. 見上げてごらん夜の星を

この曲は、昨年最も多く演奏された曲の一つです。仙台で陸軍幼年学校に通った作曲家いずみたく。この曲は、彼の東北に注がれた暖かいまなざしをもって、1960年代、金の卵と言われ、集団就職の生徒が通う定時制高校の生活をテーマに、ミュージカルの主題歌として作曲されました。このミュージカルは、「定時制に通う男子高校生が、昼間の教室で同じ机を使っている女子高校生と文通する、未来に夢と希望を抱く青春群像」でした（朝日新聞2012年1月12日夕刊）。歌詞の「手をつなごう僕と追いかけてよう夢を」を特に大切に歌ってまいりました。今年は、作曲者の没後20年でもあり、このミュージカルが再演されたことも記憶に新しいところです。

### 2. ふるさとの四季

ふるさとの四季は、東北の方々が身をもって伝え続けてきている、家族の大切さ、地域のそして故郷の大切さを実感させます。このコンサートのオープニングの二曲にふさわしいと考えました。どんな時も、たとえ、故郷を離れ、異国にあっても、故郷の歌や童謡を歌うと、故郷はよみがえります。ふるさと、祭、日本の春夏秋冬、雪。ボストンの日本人会でこれらの曲を歌った時、「異国にいる日本人には、悲しくなってしまうので、ひとりでは歌えませんが、皆となら歌える」と言われたことを思い出します。

## 第3部

### 1. 瑠璃色の地球

この曲はソロ曲として有名ですが、合唱曲としては、東北大学OB混声合唱団がこの曲を取り上げ、男声団員と20名以上に及ぶその奥様によって歌われました。その演奏を聴き夫婦の絆の大切さを教えていただきました。また、日本人宇宙飛行士で、ご家族をお持ちの山崎さんの朝のウェイクアップの曲に選ばれたことも、記憶に新しいことです。私どもはこの曲を昨年第7回西高フォーラム（J a x a センター所長川田恭裕氏講演西高24期）、杉並区サマーコンサートで歌いました。

### 2. 風

この曲は昨年12月、杉並ユネスコ協会創立60周年の式典で歌わせていただきました。この曲は10年前、同協会が50周年の時に詩を募集し、当時中学生だった小高陽子さんの詩が選ばれました。その小高さんの前で演奏させていただきました。

### 3. 遙かな友に

団員の中に、この曲の制作逸話を知っている方がおられ、「作曲者は、合宿で、学生が夜眠らず騒がしいのでこの曲を作った」とお聞きました。しかしその後、この曲は、多くの方々によって歌い続けられ、曲のイメージは成長し、成熟していきました。

### 4. 大地讃頌

作曲者の指揮で、秩父で歌ったこの歌。大地の素晴らしさ、そして自然の大切さ、作曲者の力強い指揮を胸に指揮したいと思います。

### 5. 郵便馬車の駅者だった頃

この曲は、西高の昭和40年代合唱部の方々によって、よく歌われていたロシア民謡曲です。この曲の編曲は前指揮者の榊原先生と西高20期の方です。この曲の歌詞から、後世に伝えることの大切さを改めて学ばせて頂きました。思えばこの合唱団は、西高合唱部の部員として、昭和44年にNHK合唱コンクール全国大会に出場したメンバーもおりますが、多くは西高時代音楽を履修していた方々です。当時西高で、音楽の授業を担当されていた故永光淳先生は20年以上にわたり音楽一筋に教えておられました。先生がもし御存命であれば、この団員の顔ぶれをご覧になり、皆こんなに歌が好きだったのかと、さぞかし驚かれたことと思います。

### 6. イエズスの面影

作曲者ビクトリアは1611年に亡くなり、昨年が没後400年の記念の年でした。私どもの合唱団は、作曲者の周年を大切にしており、とりわけこの曲が、多くの方々に歌い継がれて今日まで来たことは、素晴らしいことだと思います。400年前、天正の少年使節団は、イタリアに行きローマ法王に謁見し、この時代の音楽を聴いたことが記録されています。前述杉並ユネスコ協会創立60周年式典で歌いました。

Jesu dulcis memoria, Dans vera cordi gaudia, イエズスの面影こそ こよなくも なつかしき  
Sed super mel et omnia, Ejus dulcis praesentia. みよ 恵にあふれ そは 愛の泉よ

### 7. Ave verum corpus

昨年が作曲されて220年の年。今年諸外国から、最も多く演奏が寄せられた曲の一つ。わたしどもも、西高フォーラム、教会、そして、ユネスコ協会創立60周年式典、その他でも歌い続けました。モーツァルト最晩年のこの曲は、作曲者が自らの死を目前にして、作曲され、短い曲の中に、その思いが凝縮された作品です。昨年、震災を目にし、言葉を失う中、この祈りの曲を歌うことが、どんなに大切なことか、そして、諸外国の合唱団から贈られた追悼の合唱曲を聴くことが、どんなに心温まるかを実感したのは私だけではなかったと思います。

西洋の一度歌うことは二度祈ることを、この一年、東北にそしてその前後に起こった、ニュージーランド、トルコ、タイ、アメリカ東海岸、メキシコ、フィリピンなどに思いを寄せて歌い続けてまいりました。

Ave verum corpus natum de Maria virgine, vere passum, immolatum in cruce pro homine. Cujus latus perforatum unda fluxit et sanguine; esto nobis praegustatum in mortis examine.	乙女マリアから生まれたお体 人類のために受難し 十字架の犠牲となられた わき腹を刺され 水と血を流された 臨終に際し あなたを頂く 私たちの糧になりたまえ
--	--

### 8. ナブッコ

1842年ミラノ・スカラ座で初演、本年は初演170年の記念の年。妻と子供を亡くした若きヴェルディが失意の中、作曲し、初めて大成功した出世作。イタリア第二国歌とも言われ、オペラでは拍手が鳴りやまなくなる時もあります。本日は、作曲の経緯そして、祖国故郷への想いから、最後の曲にふさわしいと思い選曲致しました。

Va, pensiero, sull'ali dorate;  
 Va, ti posa sui clivi, sui colli,  
 Ove olezzano tepide e molli  
 L'aure dolci del suolo natal!

行け、思いよ、黄金の翼に乗って、  
 行け、おまえは山に丘に憩い、  
 そこでは、暖かく柔らかな  
 祖国の甘いそよ風が薫っている！

Del Giordano le rive saluta,  
 Di Sionne le torri atterrate...  
 Oh, mia patria sì bella e perduta!  
 Oh, membranza sì cara e fatal!

ヨルダンの川岸へ挨拶を届けよ、  
 倒されたシオンの塔にも...  
 ああ、わが麗しの失いし祖国よ！  
 ああ、懐かしくも酷い思い出よ！

Arpa d'ôr dei fatidici vati  
 Perché muta dal salice pendi?  
 Le memorie nel petto raccendi,  
 Ci favella del tempo che fu!

運命を預言する預言者の豎琴よ、  
 なぜ柳の木に掛かって黙っている？  
 胸の中の思いを再び掻き立てる、  
 過ぎ去りし日を我らに語るのだ！

O simile di Solima ai fati  
 Traggi un suono di crudo lamento,  
 O t'ispiri il Signore un concerto  
 Che ne infonda al patire virtù!  
 Patire virtù...

又は運命のソリマ (エルム) と同じ  
 辛く悲しい響きをもった悲劇の詩を、  
 さもなくば、辛苦に耐えうる勇気を  
 呼び起こすような快い主の靈感を！  
 苦しみに負けない強き心を...

~~~~ ♪ 会場のみなさまも一緒に歌いましょう ♪ ~~~~

### 見上げてごらん夜の星を

見上げてごらん 夜の星を  
 小さな星の 小さな光りが  
 ささやかな幸せを 歌ってる

見上げてごらん 夜の星を  
 ぼくらのように 名もない星が  
 ささやかな幸せを 祈ってる

手をつなごう ぼくと  
 追いかけてよう 夢を  
 二人なら 苦しくなんかないさ

見上げてごらん 夜の星を  
 小さな星の 小さな光りが  
 ささやかな幸せを 歌ってる

### 故郷

兎追いしかの山 小鮎釣りしかの川  
 夢は今もめぐりて 忘れがたき故郷

如何にいます父母 恙なしや友がき  
 雨に風につけても 思いいずる故郷

志をはたして いつの日にか帰らん  
 山はあおき故郷 水は清き故郷



■ 黒田 彰 (くろだ あきら) 声楽家 (バリトン) 合唱指揮者、ボイストレーナー

西高27期。中央大学法学部を経て、武蔵野音楽大学、同大学院を修了。原口隆一氏、疋田生次郎氏に師事。文化庁オペラ研修所第5期修了。オペラ「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールでデビュー。1992年カザルスホールにてリサイタル。二期会「学生王子」、「メリー・ウィドー」、文化庁オペラ研修所20周年記念公演「こうもり」、新国立劇場「沈黙」、ホールオペラ「運命の力」、「椿姫」など多数に出演。第3回奏楽堂日本歌曲コンクール入選後、歌曲分野でも活躍し「日本の名歌」などの演奏会で圧倒的支持を得ている。

2002年、武蔵野音楽大学派遣にて米国インディアナ大学音楽学校、ハーバード大学音楽学部を客員研究員として視察研修。米国でのリサイタル演奏は、地元新聞で高評を博し、その演奏はハーバード大学図書館に収蔵された。近年は、2008年オペラ「ジャンニ・スキッキ」タイトルロールや2010年の「こうもり」でも好評を得ている。阪神大震災の時にはチャリティーコンサート(1996年)に出演。昨年5月には渋谷区長谷戸社会教育会館の依頼を受け、東日本大震災の被災地に想いを寄せるコンサート「夢見たものは、ひとつの家族の歌」に、家族とともに出演している。また、この一年、すべてのソロコンサートそしてすべての合唱団から、東北そして、それ以後に起こった自然災害被災地に思いを寄せ「一度歌うことは二度祈る」演奏を行った。

発声の響きを重視した合唱指導も定評があり、本合唱団の他、東久留米混声合唱団をはじめとして数多くの合唱団の指導にたずさわり、「第九」、「レクイエム」などを指揮。2009年東日本合唱祭(岩手県一関市)には城西混声合唱団の指揮者として出演。渋谷区第九合唱初心者講座を10年以上つとめ、城西学園混声合唱団(城西大附属中高父母地域教職員)、JOSAI紀尾井町混声合唱団(城西国際大学)の指揮者として活躍中。

現在、武蔵野音楽大学大学院、武蔵野音楽大学声楽科および同附属高等学校講師。二期会会員、木下記念日本歌曲研究会会員、日本演奏連盟会員、アメリカ合衆国声楽教育者協会(NATS)正会員。

■ 大島 優子 (おおしま ゆうこ) ピアニスト

西高26期。国立音楽大学卒業。国立音楽大学大学院ピアノ専攻を首席で修了。同時にクロイツァー賞を受賞。卒業後、国立音楽大学非常勤講師となり、現在に至る。国立音大オーケストラ定期演奏会にてピアノ協奏曲を演奏。1982年デビューリサイタル。以後ソロとしては、1984年、1985年、1995年、1997年に、ジョイントリサイタル。1998年、2001年、2005年にソロリサイタルを開催。その他、主に声楽の伴奏、合唱の伴奏を手がけ、また、地域でのファミリーコンサートにも出演。1996年より、地域のピアノの先生方と月一回の定例の勉強会を続け現在に至る。2003年より、長野県小諸高校音楽科においてもピアノ指導を行っている。西高混声合唱団の結成当初(2000年)より現在まで同合唱団のピアノ伴奏者をつとめる。

現在、国立音楽大学講師、長野県小諸高校講師、ピティナ(PTNA-全日本ピアノ指導者協会)正会員、クロイツァー記念会会員。

■ 小笠原 里香 (おのであ りか) ピアニスト

宮城県出身。宮城学院女子大学付属音楽教室を経て、常盤木学園高等学校音楽科、武蔵野音楽大学器楽科卒業。常盤木学園高等学校音楽科在学中、特待生奨学金を得る。

これまでに、鈴木美智子、斎藤嘉恵子、永岡信幸、三宅麻美の各氏に師事。そのほか、徳丸聡子、ジョルジュ・ナードルの各氏の薫陶を受ける。2011年5月29日渋谷区長谷戸社会教育館の依頼を受け東日本大震災の被災地に思いを寄せた「夢見たものは、ひとつの家族の歌」コンサートに出演。

現在、洗足学園音楽大学大学院に在学。

西高混声合唱団出演者

| SOPRANO     | ALTO        | TENOR      | BASS        |
|-------------|-------------|------------|-------------|
| 長谷川明子 (19期) | 橋本 友子 (6期)  | 春木健一郎 (6期) | 土橋 康邦 (2期)  |
| 広島絵里子 (21期) | 和田 礼子 (9期)  | 笠原 哲 (8期)  | 大城 朝昭 (4期)  |
| 富山 優子 (24期) | 高島 節子 (12期) | 児玉 昌久 (9期) | 平間 敏行 (8期)  |
| 野村 麻里 (24期) | 小池 陽子 (17期) | 後藤 豊 (紹介)  | 蛭間 英次 (8期)  |
| 和田 陽子 (26期) | 高橋 比路 (24期) |            | 重信 史郎 (9期)  |
| 都築 美奈 (41期) | 三好 貴子 (24期) |            | 新聞 泰弘 (12期) |
| 成田 万波 (PTA) | 龍田 恭子 (33期) |            | 萩原 愛一 (21期) |
|             | 中野恵美子 (33期) |            | 成田 俊彦 (PTA) |
|             | 山口由美子 (元教員) |            |             |
|             | 渡邊 邦子 (元教員) |            |             |



【リハーサルピアニスト】平山美帆子 (ひらやま みほこ) (27期)